研究助成：よくある質問と答え

応募全般について

1.　自分の行っている研究がどの助成分野にあてはまるのか判断できません。
研究助成の概要に記載した助成対象分野とキーワードをお読みいただきご判断ください。

2.　学生の応募は可能ですか。
助成金を適切に管理するため、指導教員を研究代表者とし、ご自身は共同研究者として応募いただくことができます。

3.　特定の機関に所属していないのですが、応募できますか。
本研究助成は、日本国内の情報・通信分野に関連する研究機関、教育機関に所属する方を対象としております（非常勤も可）。

4.　現在、海外留学中ですが応募できますか。
研究期間開始時に日本国内の研究機関、教育機関に所属していれば可能です。

5.　外国人の応募は可能ですか。
日本国内の情報・通信分野に関連する研究機関、教育機関に所属している研究者であれば、国籍を問わず応募いただけます。ただし、応募書類の作成や採択後の手続、研究成果の報告等は、日本語で行ってください。

6.　審査結果の通知時期以前に異動の予定があります。
現在の所属と異動先の情報を併記してください。また、応募後に所属や役職の変更がわかった場合はすみやかに財団事務局までお知らせください。

7.　推薦者はどのような人が望ましいですか。
どなたでも結構です。応募者が大学教員である場合、学長や学部長を推薦者とする方が多くみられます。

8.　推薦者が見つかりません。
推薦者欄は無記入でも応募可能です。

9.　一人の推薦者が複数の研究を推薦してもよいですか。
推薦件数に制限はありません。

10. 応募者が他の応募者の推薦者となることはできますか。
できます。

11. 応募者が、他の応募者の共同研究者となることは可能ですか。
可能です。ただし、研究テーマや研究内容が先の応募と同一の場合は受付いたしかねます。

12. 一つの機関や部署からの応募人数に制限はありますか。
ありません。

13. 機関や部署ごとに応募をとりまとめる必要がありますか。
指定はありません。研究者が個別に応募することもできます。所属先の規定にしたがってご応募ください。

14. 支出計画に間接経費を含めることはできますか。
できます。支出計画は、間接経費を含めて 120 万円となるようご記入ください。

結果通知について

15. 審査結果はどのように通知されますか。
採否にかかわらず、応募者全員に書面郵送にてお知らせいたします。

16. 採択された/されなかった理由を教えてください。
審査の内容にかかわる事項は公開しておりません。

助成金について

17. 助成金の管理は所属機関と自身の研究室のどちらで行えばよいですか。
指定はありません。所属先の規定があれば、それにしたがって管理してください。

18. 助成金の振込先に研究者の個人口座を指定することはできますか。
原則として所属先の口座を推奨しておりますが、所属先に助成金の受入口座がないなどの場合に限り個人口座の指定も可能です。

19. 助成金はいつから使用できますか。
原則として、研究助成金の交付より 1 年間を研究期間としております。

20. 助成金の使途に制限はありますか。
原則として、応募いただいた研究に関する費用であれば差し支えありませんが、研究者本人の個人所得となるようなものへの使用はご遠慮ください。

研究成果の報告について

21. 成果報告の形式を教えてください。

研究期間満了の一ヶ月前をめどに、研究報告書の作成要領とフォーマットをお送りしますので、それにしたがって研究報告をお願いいたします。また、オンラインフォーラム（研究成果報告会）を開催いたしますので参加ください。